

軍団印はすべて「団印」とあって、「軍印」とはないので、伊予国の印と認めるには疑問がある。また、印の型と字体とから考えても奈良時代のものではなく、府兵制がくずれて健児が採用されていた平安時代のものらしく思われる。

以上、日本の歴史において、地方の事情がややわかってくる古代律令時代の伊豫市とその周辺地域を、国家の財政基盤としての条里制、行政組織としての国・郡・郷制、軍事組織としての府兵・軍団制の三面から概観してきたところを要約すると、日本民族発展のうえに絶大な意義をもった瀬戸内海の役割にひそかに関係をもつてから開発せられ、重要視せられた地方的先進地域であったということになる。発展的に瀬戸内海に連係のあったのは、伊予の国の地理的宿命で、中世における松前城主であった加藤嘉明の水軍大将としての働きなど、伊予人の史上における主な活躍はいずれも、この宿命に対応したものである。

今や内海時代は過ぎて、大洋時代から更に宇宙時代に進みつつある。市民はこうした新時代の大勢を見つめ、祖先の残した歴史的遺産をふまえ、温古知新の発展をとげるべき環境の中にあるといえよう。

久留米大学教授 文学博士 日野 開三郎
九州大学名誉教授

佐賀大学助教授 文学士 日野 尚志

目次

口 絵

発刊のことば……………(9)

特別寄稿 古代の伊豫市とその周辺……………(11)

第一編 自然環境

第一章 位置・面積……………3

一、位 置……………3

二、面 積……………4

第二章 地 形……………5

一、地形の概況……………5

二、各地区の地形……………7

三、地形と農業……………12

第三章 地 質……………13

一、地質の概要……………13

二、各地域の地質……………14

参考文献

天平十六年	出雲国計会帳	出雲風土記	令義解
同 八年	伊予国正税出挙帳	類聚三代略	律令残篇
同一〇年	周防国正税帳	日本三代実録	寧楽遺文
同一〇年	駿河国正税帳	日本紀略	伊予史精義
同一〇年	但馬国正税帳	続日本紀	栗田先生雜考
	和名類聚抄	続日本後紀	
	懷 風 藻	大日本古文书卷四	

この「特別寄稿」は、一九七四(昭和四九)年「伊豫市誌」初版本の発行にあたって、伊予市出身の日野開三郎、日野尚志両氏から寄せられたもので、当時のまま掲載しました。

三、土壤の概要……………22

第四章 気 候……………23

一、気候概況……………23

二、天 候……………25

第五章 生 物……………29

一、植 物……………29

1 概 況……………29

2 伊豫岡八幡社叢の植物……………29

3 坂本日吉神社社叢の植物……………33

4 伊曾能神社社叢の植物……………34

5 広田神社社叢の植物……………34

6 埜中神社社叢の植物……………34

7 谷上山の植物……………35

8 鶴崎・唐川の植物……………36

9 遺体植物……………37

10 文化財としての植物……………39

11 帰化植物……………41

- 二、動物.....43
 - 1 ほ乳類.....43
 - 2 鳥類.....43
 - 3 その他のセキツイ動物.....44
 - 4 昆虫.....44

第二編 歴史

第一章 原始・古代.....49

- 一、ナウマン象のいたころの伊予.....49
 - 1 このころの自然環境.....49
 - 2 旧石器時代の遺跡と遺物.....50
 - 3 人々の生活.....52
- 二、縄文土器使用時代の伊予.....53
 - 1 縄文時代の自然環境.....53
 - 2 縄文遺跡と遺物.....53
 - 3 人々の生活.....55
- 三、稲作と金属器・弥生土器時代の伊予.....56
 - 1 稲作の始まり.....56
 - 2 石剣と金属器.....58
 - 3 主要遺跡と遺物.....59

- 1 大洲領と松山領の替地.....88
- 2 米湊網代騒動.....90
- 3 大洲松山入会山紛争.....93
- 四、天領問題.....96
 - 1 加藤泰堅所領没収.....96
 - 2 天領の成立.....97
 - 3 公料替地.....99
- 五、農民問題.....99
 - 1 百姓一揆.....99
 - 2 池の築造.....103
 - 3 麻生水論.....107
- 六、貯穀と備荒の展開.....109
 - 1 窮民救済と備荒.....109
 - 2 幕府貯穀令.....110
- 七、郡中築港.....117
 - 1 築港への道.....117
 - 2 経理と修補.....120
- 八、災害と疫禍.....122
 - 1 地震と干害.....122
 - 2 コレラ・麻疹.....124
- 九、農兵制度.....125
 - 1 郷筒の成立.....125

- 4 高地性遺跡の出現.....64
- 5 墳墓.....64
- 四、豪族支配の古墳時代.....65
 - 1 豪族たちの出現.....65
 - 2 渡来人たちの活躍.....67
- 五、古墳の消滅と仏教の伝来.....74
 - 1 方墳の出現.....74
 - 2 仏教伝来と古代寺院跡.....74
- 六、律令時代の伊予.....78
 - 1 伊予郡の成立.....78
 - 2 条里制.....79
 - 3 伊予の荘園.....79

第二章 中世.....80

一、中世の概況.....80

第三章 近世.....83

- 一、領主の交替.....83
 - 二、大洲加藤氏とその家統.....84
 - 1 大洲領主.....84
 - 2 新谷領主.....87
 - 三、替地問題とその余波.....88

- 2 農兵の準足軽化.....126
- 3 郡中保国隊.....127
- 一〇、郡民支配.....129
 - 1 支配のしくみ.....129
 - 2 村方制法.....131
 - 3 貢租.....135

- 一一、町郷の展開.....137
 - 1 三町の成立と発展.....137
- コラム「郡中・灘町の起こりと宮内家」.....140
 - 2 郷村の流れ.....144
 - 3 村役人.....146
- 一二、開発と産業.....151
 - 一三、新政と郡中.....159
 - 1 松山征討.....159
 - 2 めまぐるしい新政.....160
 - 3 廃藩置県.....161
 - 4 大洲若宮騒動.....162
 - 5 宇和島県・松山県への移行.....166

第四章 近代.....166

- 一、明治以降の郡中地方.....166
 - 1 明治初年の状況.....166

- 2 明治以降の備荒制度(郡中貯).....169
- 3 ロシア兵捕虜と彩浜館.....171
- 4 郡中巷衛創業碑の建立.....172
- 二、特産物の変遷.....174
 - 1 本郡の塩田.....174
 - 2 はぜ・木ろう・甘蔗.....175
 - 3 三島陶器.....178
 - 4 唐川の砥石.....180
 - 5 絣織物業.....182
 - 6 郡中の陶磁器.....183
- 三、太平洋戦争下の生活.....184

第二編 行政・財政

第一章 行政区画の変遷.....189

- 一、集落の形成.....189
 - 1 山腹の集落、鶴崎・両沢.....189
 - 2 背後に山を負った農村集落.....189
 - 3 計画的に形成された在町.....191
- 二、明治前期の行政区画.....192
 - 1 明治維新後の村々.....192

8 新市への合併.....215

第三章 財政.....217

- 一、旧町村の財政.....217
 - 1 財政規模と住民負担の推移.....217
 - 2 徴税制度の変遷.....218
- 二、伊予市の財政.....220
 - 1 健全財政の維持.....220
 - 2 財政の推移.....220

第四章 社会福祉.....227

- 一、社会福祉法に基づく事業.....227
 - 1 生活保護.....227
 - 2 児童福祉.....228
 - 3 母子及び寡婦福祉.....232
 - 4 知的障害者福祉.....233
 - 5 老人福祉.....233
 - 6 身体障害者福祉.....237
- 二、その他.....237
 - 1 国民年金.....237
 - 2 地方改善対策事業.....239
 - 3 交通災害共済制度.....241

- 2 郡区町村編成法と郡役所.....194
- 3 市制・町村制の公布と地方自治制の確立.....195

第二章 市制実施.....197

- 一、市制実施を必要とした理由.....197
- 二、合併に至るまでの経緯の概要.....198
- 三、新市建設計画.....199
- 四、合併の協定書.....203
- 五、市設置申請.....204
 - 1 合併の議決.....204
 - 2 伊予市設置申請.....204
- 六、伊予市設置の許可.....205
- 七、県議会の議決.....205
- 八、伊予市制施行.....206
- 九、伊予市の歩み.....207
 - 1 伊予市の誕生.....207
 - 2 伊予市政の概要.....207
 - 3 伊予市歴代の三役.....207
 - 4 市議会.....208
 - 5 行政事務機構.....209
 - 6 鶴崎部落の境界変更.....212
 - 7 平岡部落の境界変更.....214

第五章 保健衛生.....246

- 一、明治以降の衛生行政.....246
 - 1 衛生組合.....247
 - 2 保健所の設置.....248
 - 3 伊予市保健センターの設置.....249
- 二、感染症.....249
 - 1 赤痢.....249
 - 2 結核.....251
 - 3 寄生虫.....251
 - 4 C型肝炎.....251
- 三、生活習慣病.....252
 - 1 がん.....253
 - 2 心疾患・脳血管疾患.....255
 - 3 老人保健法に基づく医療以外の保健事業.....255
 - 4 女性の健康づくり推進事業.....255
- 四、母子保健.....257
- 五、環境衛生.....258
 - 1 水道.....258

- 2 伊予市上水道の誕生.....260
- 3 下水道.....263
- 4 廃棄物(清掃事業).....268
- 5 火葬場.....270
- 六、医療関係施設.....271
 - 1 診療所(開業医など).....271
 - 2 救急医療(在宅当番医).....271
 - 3 隔離病舎.....272
- 七、国民健康保険.....273
 - 1 制度の沿革.....273
 - 2 新国民健康保険.....273
- 八、健康都市宣言.....274
- 九、介護保険.....275
- 一〇、人口動態.....276
 - 1 伊予市の人口.....276
 - 2 自然増加.....276

第六章 土 木.....278

- 一、道 路.....278
- 二、港 湾.....280
- 三、都市計画.....281
 - 1 街路事業.....282

第九章 選 挙.....340

- 一、選挙制度のあゆみ.....340
- 二、国・地方選挙.....342
 - 1 国政選挙.....342
 - 2 地方選挙.....347

第八章 徴兵・兵事.....308

- 1 民衆による治安——保安組合.....304
- 2 伊予警察署の沿革.....304
- 3 警察庁舎の建築.....306
- 4 歴代署長.....307

第七章 警備・治安.....285

- 一、警 備.....285
 - 1 消防の沿革.....285
 - 2 近代における消防.....288
 - 3 常備消防.....297
- 二、治 安.....304

- 2 都市公園事業.....283
- 3 国土調査(地籍調査).....284
- 四、治水・砂防.....284

- 三、選挙管理委員会と明るく正しい選挙推進協議会.....355
 - 1 選挙管理委員会.....355
 - 2 明るい選挙推進協議会.....356
- 第一〇章 労働問題.....356

第四編 産業・経済

- 第一二章 官公署・施設等.....369
 - 5 固定資産評価審査委員会.....368
 - 6 農業委員会.....368

第一章 農業経営.....377

- 一、土地利用と水利.....377
 - 1 農地の分布及び土地利用の推移.....377
 - 2 農地の権利移動.....377
 - 3 水利技術の発展.....379
 - 4 道前道後平野農業水利事業.....386

- 一、明治時代初期の農民運動.....356
- 二、戦前の労働運動.....356
 - 1 郡中町の米騒動.....357
 - 2 労働組合運動.....359
- 三、戦後の労働運動.....360
- 第二一章 広報及び区長会.....361
 - 一、広報と行政.....361
 - 1 概 説.....361
 - 2 広報紙の発行.....362
 - 3 広 聴.....363
 - 二、区長協議会と行政.....364
 - 三、各種委員会.....367
 - 1 教育委員会.....367
 - 2 選挙管理委員会.....368
 - 3 公平委員会.....368
 - 4 監査委員.....368

- 二、土地制度と農地改革.....386
 - 1 農地調整と自作農創設.....386
 - 2 農地改革.....388
 - 3 農業委員会.....389
- 三、土地改良事業.....390
- 四、経営の動き.....392
 - 1 農家戸数と人口.....392
 - 2 農業就業と経営規模.....392

- 五、農業生産の動き……………394
- 1 作物編成の動向……………394
- 2 農業技術の指導……………395
- 3 主な農業施策……………397

第二章 農業の近代化……………399

- 一、農業振興の基本構想……………399
- 二、主要作目の生産振興方針……………400
- 1 生産性向上等の方針……………400
- 2 生産・流通改善方針……………401
- 3 地域農業振興のための農業経営の基本方針……………405
- 4 経営体を支える人材の育成確保方針……………406
- 5 水田営農活性化対策の推進方針……………407
- 6 その他の推進方針……………408

第三章 農業協同組合……………409

- 一、戦前の農村産業組合……………409
- 二、戦後の農業協同組合……………411
- 三、農業倉庫……………413
- 四、農業災害補償制度……………414
- 五、現代の農業協同組合……………415
- 1 伊予農業協同組合……………415

第四章 林業……………421

- 2 南伊予農業協同組合……………417
- 3 伊予園芸農業協同組合……………417
- 4 えひめ中央農業協同組合……………420

一、山林の分布と経営条件……………421

- 二、林業経営の推移……………422
- 三、森林組合……………425

第五章 商業……………427

- 一、藩政時代の商業……………427
- 1 町の成り立ち……………427
- 2 各種の商業……………428
- 二、明治時代以後の商業……………430
- 三、現代の商業……………432
- 1 商業の近代化……………432
- 2 商工会議所……………434
- 3 中心市街地の活性化……………435

第六章 工業……………438

- 一、明治時代の工業……………438
- 二、工業の現況……………438

第七章 水産業……………446

- 一、漁村の形成……………446
- 二、漁場と漁法……………447
- 三、漁業組合の変遷と活動……………449
- 四、郡中・松前の網代紛争……………454
- 五、漁業形態及び漁業の現況……………456
- 六、水産加工……………463
- 七、森漁港の築造と全国豊かな海づくり大会……………465

第八章 金融……………467

- 一、金融の変遷……………467
- 二、明治以降の金融……………468
- 1 銀行業の発生と発展……………468
- 2 産業組合……………471
- 3 郵便貯金……………472
- 三、大正期以降の金融……………472
- 四、戦後の金融の状況……………474
- 五、現在の金融機関……………475

第九章 交通・運輸・通信……………476

- 一、交通……………476

第五編 教育……………501

第一章 藩政時代の教育……………501

- 一、大洲・新谷藩の文教と郡中地方……………501
- 二、学問の興隆……………502
- 三、寺子屋の教育……………504

第二章 明治時代の教育……………507

- 一、学制の発布と実施……………507
- 二、教育制度の確立……………510
- 1 小学校制度……………510
- 2 小学校の整頓……………511
- 三、教育の整備……………515
- 1 町村立小学校の整備……………515
- 2 小学校教育の統制……………518
- 3 当時の教育の状況……………519

4 青年団の発足と青年教育の開始……………521

5 教育関係諸団体、その他……………524

第三章 大正時代の教育……………525

一、小学校教育の充実……………525

1 教育制度の拡充……………525

2 学校建築の拡充……………526

3 新教育運動の展開……………526

二、実業教育の進展……………527

1 伊予郡立実業学校の創設……………527

2 実業補習学校の進展……………528

三、社会教育団体の生長……………528

1 青年団の発展……………528

2 女子青年団の活動……………529

3 婦人会の結成……………529

4 幼児教育……………530

5 その他の団体……………530

第四章 昭和時代の教育……………530

一、昭和初期の教育……………530

1 小学校教育の変化……………530

2 小学校校舎の増改築……………531

3 青年学校教育の振興……………534

二、戦時下の教育……………535

1 初等教育の戦時体制……………536

2 小学校施設の変化……………539

3 青年学校教育の戦時体制……………540

4 青少年団体の新体制……………541

5 婦人団体の強化……………541

三、戦後の教育……………542

1 戦後の義務教育……………542

2 教育委員会……………545

3 PTAの活動……………552

4 公民館の活動……………553

5 青少年団体……………556

6 婦人団体……………558

7 図書館……………560

8 幼稚園、高等学校、その他……………561

四、昭和後期から平成期の教育……………563

1 義務教育の充実と発展……………563

2 人権・同和教育の推進……………571

3 社会教育の進展……………575

4 図書館と文化団体の活動……………581

5 社会教育団体の活動……………584

6 社会体育の振興……………587

7 幼稚園と高等学校……………588

第六編 宗教……………593

第一章 神社……………593

一、神社の変遷……………593

二、現代の神社……………595

第二章 寺院……………609

一、寺院の変遷……………609

1 寺院のおこりとその変遷……………609

2 明治時代の寺院……………610

3 戦争と寺院……………611

二、現在の寺院……………611

三、転廃寺……………627

第三章 キリスト教……………630

一、沿革……………630

二、教会……………631

第四章 教派神道・その他……………632

一、天理教……………632

二、金光教……………633

三、黒住教……………634

四、立正佼成会……………635

五、生長の家……………636

六、創価学会……………636

第七編 民俗……………641

第一章 村落社会の構造……………641

一、昔の村……………641

二、村(部落)の自治……………641

三、ほのぎ……………642

第二章 労働慣行……………646

一、共同作業……………646

二、村休み……………647

第三章 俗信・俚諺・風習……………647

一、俗 信……………648

二、俚 諺……………649

三、風 習……………650

第四章 年中行事……………652

第五章 民話と伝説……………653

一、平岡城の千人がくれ(平岡)……………653

二、白滝城(唐川)……………654

三、浜出稻荷の宝剣(唐川)……………655

四、大地蔵の木地蔵(大平)……………656

五、新田義治の墓(大平)……………658

六、森山城主 森山伊賀守(大平)……………659

七、九門修理と虎月毛(大平)……………660

八、鉄砲の名人 端の左衛門(三秋)……………661

九、頼信城の千人塚(三秋)……………664

一〇、三秋の大池の大蛇(三秋)……………665

一一、市場の祇園さん(市場)……………666

一二、国松丸の墓所(中村)……………666

一三、猿神さま(中村)……………667

一四、森の扶桑木(森)……………667

一五、三十三の観音さま(森)……………668

一六、夜泣き石(稲荷)……………668

一七、久美さん(稲荷)……………669

一八、金子の天神松(米湊)……………670

一九、大池の大人道(米湊)……………670

二〇、五色浜の石(灘町)……………671

二一、尼弘法(湊町)……………673

二二、伊予市の鹿物語(下吾川)……………674

二三、銀杏狸(下吾川)……………674

二四、力持ち善喜(下吾川)……………675

二五、吾川の武術の達人たち(下吾川)……………677

二六、伊予岡八幡神社の八角さん(上吾川)……………679

二七、太刀打場の柳(上吾川)……………679

二八、鎌倉さん(上吾川)……………680

二九、称名寺裏の化け物(上吾川)……………681

三〇、宝珠寺の建立(上吾川)……………682

三一、宝珠寺の絵馬(上吾川)……………683

三二、生きていた切株(上吾川)……………684

三三、町永の加助とカー公(下三谷)……………684

三四、薄井の大師堂(下三谷)……………686

三五、桜塵の地藏尊(上三谷)……………686

三六、幡立神社と一宮神社跡(上三谷)……………687

三七、夜光池のどんこ(上野)……………688

第八編 諸芸・文化財・観光

第一章 美術・工芸……………723

三八、神様のいた行道山(上野)……………688

三九、玉生神社の起こり(宮ノ下)……………689

四〇、後藤又兵衛(宮ノ下)……………689

四一、入仏寺の本尊(八倉)……………690

四二、キユウリ封じ(八倉)……………691

四三、大蛇の化身(八倉)……………692

第六章 子どもの生活……………693

一、子どもの遊び……………693

二、わらべうた……………694

第七章 民 謡……………701

一、労働の中の歌……………701

二、祝いごと・祈願などの歌……………707

第八章 郷土芸能・その他……………710

第九章 方 言……………712

第二章 文 芸……………734

一、漢学・漢詩文……………734

二、洋 学……………756

三、和 歌……………758

四、俳句……………763

第三章 文化財……………778

第四章 観光……………788

一、観光資源の現状……………788

二、観光施設……………792

三、行事……………795

四、名物・名産……………797

第一編 伊予市誌史料

豫州 大洲領 御替地古今集……………879

あとがき……………942

第九編 人物

第一章 人物……………801

第一〇編 年表……………859

● 第一編 自然環境 ●